

100号までの軌跡

創刊号!
(平成8年1月発行)



創刊号の精神 今も脈々と

議会だより創刊にあたって (一部要約)

懸案の「議会だより」を創刊する運びとなりました。市議会活動の経過と内容をつぶさに報告し、ご理解をいただくとともにみなさまの要望意見を市議会に反映させ、開かれた市議会の運営に努めていきたいと考えます。

牛久市誕生十周年という節目に、議会として気持ちを新たに、市民福祉の向上と地域振興発展のために、議会一丸となって努力する所存です。

議会の仕組みを分かりやすく

創刊号は、議員一人一人を写真とともに紹介し、議会の仕組みや内容を分かりやすく図解しながら説明し、議会内の各種委員会や広域議会の内容や担当者名も伝えている。

また、市民の権利である「請願」の作成についても紹介し、市民の声を広く聴く姿勢を打ち出している。

発行は当初より最小の経費で

議会だよりは「タブロイド判」というサイズで発行している。多くの自治体では市広報紙と同様のA3判2つ折りを採用しているが、発行経費抑制のためということである。

経費をかけずに市民への情報提供を充実させる姿勢は今も変わらず…。

牛久の“いま”を切り取る表紙の数々



39号…平成17年8月
上町・下町のお祭り



12号…平成10年10月
建設が進む清掃工場



44号…平成18年11月
学校の体育祭



28号…平成14年10月
明日にははばたく高校総体



92号：平成30年4月
県立牛久高等学校写真部の皆さんによる写真



59号…平成22年7月
子どもの笑顔(奥野小)



31号…平成15年7月
河童スイカ収穫

市民と議会の懸け橋

議会だより

突然、発行様式が変更し...

「突然ですが、議会だよりのスタイルが変わりました。これは、市の経費削減の一環として議会費が大幅に削減されたことによります」とのコメントがあり、市内の印刷機を使用しての発行となった。

ただし、6月議会で補正予算が生まれ、次号には元のスタイルに戻った。この間にどのようなやり取りがあったのか。記憶している議員も少ない...



38号：平成17年6月発行

発行までの経緯

市制施行以前の牛久町の頃発行されていた議会だよりの発行を望む声が高くなり、議会に請願が上程され、一気に議会発行への機運が高まった。発行経費ねん出が壁となったが、議員自らが編集に当たることや紙面をタブロイド判にすることで経費抑制に努め、発行することが決定。



©SHINOBU ARIGA

内容の充実と見やすい紙面づくりを目指し—第50号から大幅リニューアル！

議会だより50号の発行にあたって、大幅な見直しを行った。

まず、ページ数を2ページ増やし8ページとし、掲載内容については各委員会の審議や視察報告などにも紙面を割り、採決結果については会派、議員の賛否を明らかにするなど充実を図った。この議員ごとの賛否を明らかにすることは県内では先進的な取り組みであった。

また、一般質問者の顔写真を掲載したり、写真を多く取り入れたり、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを進めた。



50号：平成20年5月発行



今号で創刊100号！これからもよろしくお願いいたします。

議会だより91号から96号の表紙写真は牛久市内各高校の写真部の皆さんに撮影していただきました。

90号では、「牛久市議会基本条例」の制定に合わせて、議会報告会の内容報告とともに、4年間の議会改革の取り組みを振り返る特集号を発行しました。

議会だよりは各定例会後の発行を基本としていましたが、速報性を高めるために議員改選後に臨時号を発行しました。



100号：令和2年1月発行



91号：平成30年1月発行



90号：平成29年12月発行



79号：平成27年6月発行